

2019-06-25(火) 19:30-20:30 川崎市産業振興会館 1F ホール  
「三浦梅園の人生と思想から学ぶ」

紹介者： 浜田 晃（はまだ あきら）

所属 元三浦梅園資料館研究員

自己紹介 1946年・熊本県産・愛知県の東邦高校で教員を勤め、  
定年退職後に国東市に移住。現在に到る。

概要 国東に生きた三浦梅園の人生と思想から現代の我々が学ぶべき事を考える。



三浦梅園(ミウラバイエン) 生年月日:1723年9月1日 死没:1789年4月9日(65歳)  
日本の江戸時代の思想家、自然哲学者、本職は医者。豊後国の出身。地図の元祖伊能忠敬の師匠。

出展: [Wikipedia](http://www.wikipedia.org) <http://islamjp.com/philo/iwata/05Baien.htm>



三浦梅園と聞いても多くの方はまだご存知ないと思います。梅園は江戸期、今の大分県の国東半島に生まれた哲学者です。梅園自身は自然哲学者として有名ですが、日本人には珍しく、抽象的概念を駆使してオリジナルな思想を展開したので、彼の主著である「玄語」は難解なことでも有名です。梅園については、[\[三浦梅園研究所\]](#)の優れたHPがありますので、詳しくはこちらをご覧ください。

ところで、この三浦梅園は日本思想史の中でとてもユニークな存在であるために、他の思想家との絡みで論じることがほとんど不可能な哲学者です。けれども、これはむしろ本当に哲学を志す人々にとっては幸運なところもあって、他の思想家との文献学的な比較が通用しない分だけ自分の哲学センスを試すことが出来ます。無論、梅園の著作は難解ですし、ある程度の予備知識がないと理解できませんが、何となくその中に魅力を感じることができれば哲学者としてのセンスがあるかも知れません。(だからといって別に何だ!?と言われると困るのですが…)

SPAR2019J 基調講演をいただき、コイシ社長 小原様から推薦をいただき、イブニングサロンで取り上げるものです。

文責: 河村幸二(上記 [Wikipedia](http://www.wikipedia.org) から抜粋) 2019-04-05